

## 東海道新幹線 脱線防止ガードのボルト緩み防止対策の完了について

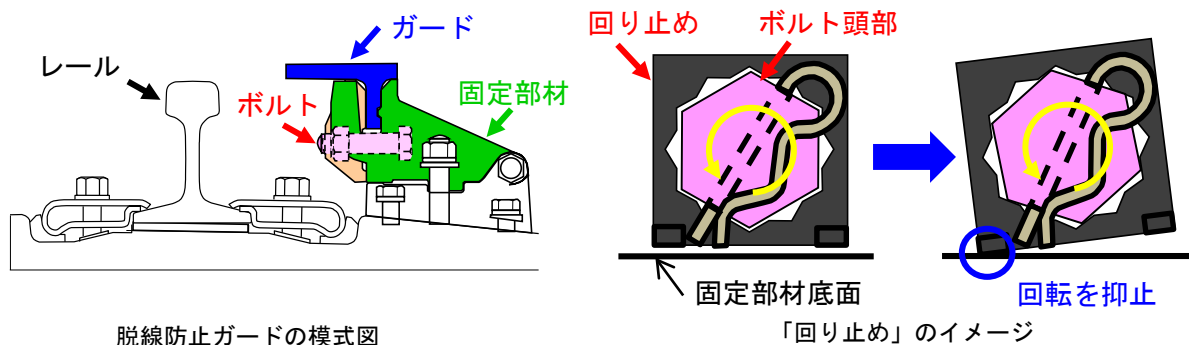
当社では、東海道新幹線の脱線・逸脱防止対策として、脱線防止ガードの敷設工事を2009年度より実施しています。

2017年3月に、この脱線防止ガードが外れる事象が発生したことを受け、2018年3月より、脱線防止ガードの脱落防止対策として、ボルトの緩みを防止する「回り止め」設置と、ガードと固定部材の隙間を無くす「新仕様の固定部材」への取替を行っており、このうち、ボルトの「回り止め」設置が完了しましたのでお知らせいたします。

なお、今後新たに敷設する脱線防止ガードは、これらの対策を施したものになります。

### ○脱落防止対策①：ボルトの「回り止め」設置（完了）

- ・内 容：ボルトの回転を抑止する「回り止め」をボルト頭部に設置
- ・対 象：既設の脱線防止ガード（426km）
- ・完了時期：2018年9月29日



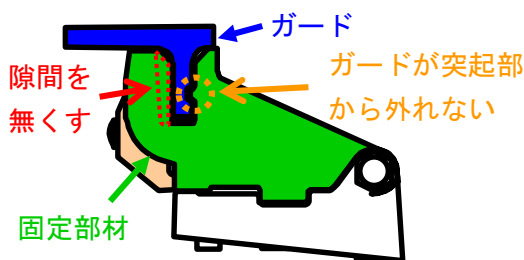
脱線防止ガードの模式図

「回り止め」のイメージ

(参考)

### ○脱落防止対策②：「新仕様の固定部材」への取替

- ・内 容：脱線防止ガードを固定する部材両端を「新仕様の固定部材」に取替
- ・対 象：既設の脱線防止ガード（426km）
- ・完了時期：2019年度末予定



「新仕様の固定部材」のイメージ



「新仕様の固定部材」設置状況